

「日興・アシュモア・グローイング・マルチストラテジー・ファンド」における トップダウン・アプローチによる運用について

当ファンドの実質的な運用会社であるアシュモア・インベストメント・マネジメント・リミテッドでは、新興国市場の資産運用に特化したマクロ経済重視のトップダウン・アプローチを得意としており、3～6ヵ月先のダイナミックな相場変動を見越したアクティブ運用を行なっています。

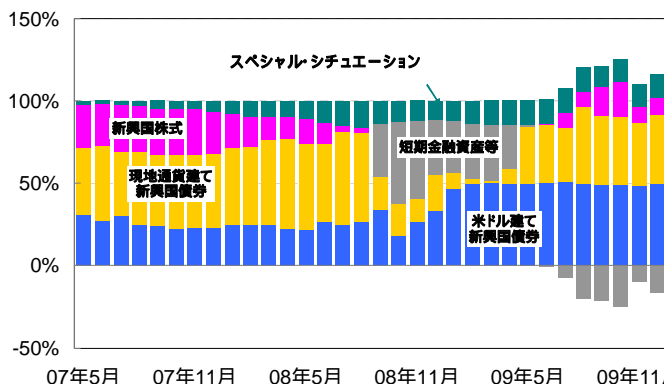
例えば、世界的に金融市場が大きく下落した2008年後半以降、当ファンドにおいては、株式や債券の組入れを減らし、短期金融資産の組入れを大幅に増やすなど、基準価額の変動を抑えることを優先した運用を行ないました。その結果、基準価額の値下がり自体は回避できなかったものの、基準価額の振れ幅を相対的に穏やかなものに留めるとともに、値下がり幅自体も相対的に小さいものとすることができました。その後、世界経済の底打ち期待などから市場に改善の兆しが出たことを受け、2009年4月以降は現地通貨建て新興国債券の組入れを増加させ、6月以降は新興国株式の組入れも再開しました。

現在、新興国のファンダメンタルズは改善傾向にあり、新興国の現地通貨建て資産は魅力的な投資対象と考えています。今後も当ファンドの運用方針に則り、マクロ環境の変化に対応してリスク管理を行ないながら、資産配分をダイナミックに変更し、中長期的なトータルリターンを最大化をめざして運用を行なってまいります。

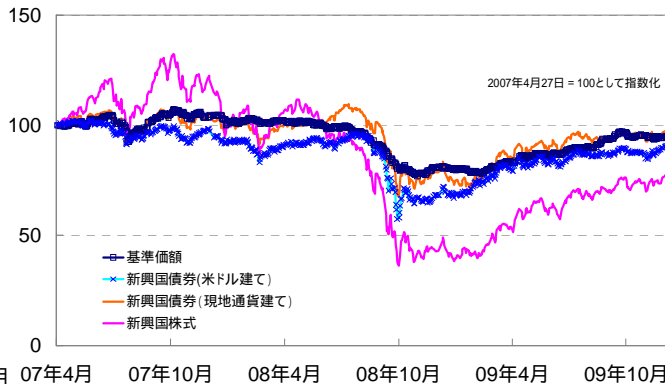
引き続き「日興・アシュモア・グローイング・マルチストラテジー・ファンド」をご愛顧くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上

運用戦略配分比率の推移(2007年5月末～2009年12月末)



主要資産と基準価額の推移
(2007年4月27日(設定日)～2009年12月30日)



2009年3月より通貨のショートポジションを短期金融資産等へ含めて表示する方式へと変更したため、2009年6月以降、短期金融資産がマイナスと表示されています。

基準価額は分配金再投資ベース、新興国債券(米ドル建て)はJPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド(米ドルベース)を、新興国債券(現地通貨建て)はJPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド(米ドルベース)を、新興国株式はMSCIエマージング・マーケット・インデックス(米ドルベース)を、日興アセットマネジメントが円換算したものです。分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

基準価額は、信託報酬(年率2.9975%(税抜2.95%)程度)控除後の1万口当たりの値です。さらに、当該投資信託証券においては運用実績により成功報酬がかかる場合があります。信託報酬については後述の手数料等の概要をご参照ください。

上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

上記は、当ファンドの主要投資対象である「アシュモア・グローイング・マルチストラテジー・ファンド・リミテッドクラスB」の投資顧問会社アシュモア・インベストメント・マネジメント・リミテッドからの情報を基に、日興アセットマネジメントが作成したものです。

当資料は、日興アセットマネジメントが「日興・アシュモア・グローイング・マルチストラテジー・ファンド/愛称:ネクスト・スター」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果等を保証するものではありません。

お申込みに際しての留意事項

リスク情報

当ファンドは、主に投資信託証券に投資を行ない、投資対象とする投資信託証券は、主に債券および株式など値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する新興国の債券および株式は、先進国の債券および株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があります。また、債権および未上場株式などは一般的に価格変動が大きくなる傾向があります。そのため、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがって、元金を割り込むことがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

- 一般に株式の価格は、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- 一般に公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動は、残存期間・発行条件などによりばらつきがあります。

【流動性リスク】

- 市場規模や取引量が少ない場合、組入銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できず、不測の損失を被るリスクがあります。
- 一般に新興国の株式および債券は、先進国の株式および債券と比べて、市場規模や取引量が少ないため、相対的に流動性リスクが高いと考えられます。

【信用リスク】

- 一般に投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。
- 一般に公社債および短期金融資産にデフォルト(債務不履行)が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格は下落(価格がゼロになることもあります。)し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

【為替変動リスク】

- 外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

【債権や未上場株式などの組入リスク】

低流動性資産のリスク

- 債権や未上場会社の発行する株式など流動性の低い資産については、保有資産を直ちに売却できないことも考えられます。また、このような資産の転売についても契約上制限されていることがあり、基準価額に影響を与えることもあります。

財務リスク

- 債権や未上場会社の発行する株式などは、社会、政治、経済の情勢変化に大きな影響を受け易く、予想に反し、債務者や発行体の業績、資金調達などにおいて懸念が生じる場合もあります。このような懸念が生じた場合、基準価額が影響を受けることも考えられます。

お申込みに際しての留意事項

【カントリー・リスク】

- 投資対象国である新興国における非常事態など(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など)を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- 情報の開示などの基準が先進国とは異なることから、投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。
- ファンドの投資対象有価証券が上場または取引されている諸国の税制が先進国と異なる場合があります。また、それらの諸国における税制が一時的に変更されたり、新たな税制が適用されたりすることもあります。以上のような要因は、ファンドの信託財産の価値に影響を与える可能性があります。

【デリバティブリスク】

- 金融契約に基づくデリバティブとよばれる金融派生商品を用いることがあり、その価値は基礎となる原資産価値などに依存し、またそれらによって変動します。デリバティブの価値は、種類によっては、基礎となる原資産の価値以上に変動することがあります。また、取引相手の倒産などにより、当初の契約通りの取引を実行できず損失を被るリスク、取引を決済する場合に反対売買ができなくなるリスク、理論価格よりも大幅に不利な条件でしか反対売買ができなくなるリスクなどがあります。

ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

その他の留意事項

当資料は、日興アセットマネジメントが「日興・アシュモア・グローイング・マルチストラテジー・ファンド / 愛称:ネクスト・スター」の投資信託説明書(交付目論見書)を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。

投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、日興コーディアル証券より、投資信託説明書(交付目論見書)などをあらかじめ、または同時にお渡しますので、必ず詳細をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込メモ

- 商品分類 : 追加型投信 / 海外 / 資産複合
 お申込単位 : < 分配金再投資コース >
 (新規申込時)50万円以上1円単位 (追加申込時)1万円以上1円単位
 別に定める場合この限りではありません。
- お申込価額 : お申込受付日の翌営業日の基準価額
 お申込不可日 : 取得申込日あるいは取得申込日の翌営業日がニューヨークの銀行休業日、ロンドンの銀行休業日、またはガーンジの銀行休業日の場合は、取得のお申込みの受付は行ないません。また、取得申込日から起算して9営業日目までの期間中に、ニューヨークの銀行休業日、ロンドンの銀行休業日、またはガーンジの銀行休業日が2日以上ある場合にも取得のお申込みの受付は行ないません。詳しくは日興コーディアル証券にお問い合わせください。
- 信託期間 : 2017年6月19日まで(2007年4月27日設定)
 決算日 : 年4回。毎年3月、6月、9月、12月の各17日(休業日の場合は翌営業日)
 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。原則として、収益分配金は税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。再投資を停止し、分配金のお受取りを希望される場合はお申し出ください。分配金のお受取りをご希望される場合、日興コーディアル証券の定める所定の日よりお支払いいたします。
- ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
 ご換金不可日 : 換金請求日あるいは換金請求日の翌営業日がニューヨークの銀行休業日、ロンドンの銀行休業日、またはガーンジの銀行休業日の場合は、換金請求のお申込みの受付は行ないません。また、換金請求日から起算して9営業日目までの期間中に、ニューヨークの銀行休業日、ロンドンの銀行休業日、またはガーンジの銀行休業日が2日以上ある場合にも換金請求のお申込みの受付は行ないません。詳しくは日興コーディアル証券にお問い合わせください。
- ご換金代金の支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して9営業日目からお支払いします。
 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。課税上は、株式投資信託として取り扱われます。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

< お申込時、ご換金時にご負担いただく費用 >

- お申込手数料 : お申込金額に応じて以下のように変わります。
 1億円未満・・・3.15%(税抜3.0%)、1億円以上5億円未満・・・1.575%(税抜1.5%)
 5億円以上10億円未満・・・0.7875%(税抜0.75%)、10億円以上・・・0.525%(税抜0.5%)

換金手数料 : ありません。

信託財産留保額 : 換金時の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額(1口当たり)

< 信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用 >

- 信託報酬 : 当ファンドの信託報酬率は、純資産総額に対して年率0.9975%(税抜0.95%)を乗じて得た額とします。この他に、投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率(年率)2%程度*がかり、受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は2.9975%(税抜2.95%)程度となります。
 *この他に、投資対象とする「アシュモア・グローイング・マルチストラテジー・ファンド・リミテッドクラスB」においては、運用実績により成功報酬がかかる場合があります。
 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
 受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率などにより変動します。

- その他費用 : 組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息など
 その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号
 加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

- 受託会社 : 日興シティ信託銀行株式会社
 販売会社 : 日興コーディアル証券株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2251号
 加入協会: 日本証券業協会、(社)日本証券投資顧問業協会、(社)金融先物取引業協会